

令和3年10月18日

関係各位のみなさまへ

日本防災士会・新潟県支部 成川一正

新潟市の中学校で生徒が企画した「抜き打ち防災訓練」を評価しました

防災安全委員の生徒16人が主体となって考えた「全校生徒と先生の抜き打ち防災訓練」が新潟市の中学校で実施されました。

生徒16人他には、校長先生、教頭先生と数名の先生しか防災訓練が実施されることを知らないという。生徒はもとより先生方も突然おこなわれる訓練の行動について試される事前予告の無い「抜き打ち防災訓練」です。しかも実施されるのは、新潟県内有数のマンモス校でこの訓練は実施されました。

我々10名の防災士は、評価者として立合をして訓練の様子を評価しました。

評価者：新潟県支部防災士5名 西区防災士の会2名 コミ協・自治会防災士3名
地域教育コーディネーター：新潟県支部防災士1名

スタート：令和3年10月15日 13:27 訓練放送 地震発生

放送 「只今、緊急地震速報がきました直ちに身を守る行動をなさい。」

「地震がきています。直ちに身を守る行動をなさい。」

放送から連呼されるのは、この言葉のみ
はたして、うまく避難訓練ができるのか？

危機迫る先生のアナウンスにグラウンドで遊んでいた生徒も身を守る行動が出来ています Good !



内履きの靴を履きかえることなく素早くグラウンドに避難移動中 Good !!

教科書を頭にのせ「頭を守る行動」がキチンと出来ている生徒も3割程いた素晴らしい Good!!



移動の際、骨折をして松葉杖で移動している仲間を気遣って行動している Very good!!!!

「グラウンドに集合まで7分」
「点呼終了と静寂まで9分」
800人以上の全校生徒と先生が混乱なく移動完了
これが早いのか、遅いのか前例もなく判断できませんがこれだけの大人数が10分以内に移動を完了できたことは高い評価とした
抜き打ちで動揺したのか静寂まで時間が掛かったのがちょっと残念なところ



「担任の先生も訓練を知らされていないというシナリオのない訓練」「いざという時の行動が生死を分ける」「自分の命は、自分で守る」「自分で判断して最善の行動をとれる人になりなさい」と校長先生のお言葉。

「学校と地域が一体となってより良い防災の取組をしていきましょう」と新潟県支部女性防災士の高橋防災士からの総評がありました。
先生や大人に頼らず、防災安全委員16人の力で実施した感動の防災訓練でした。
同校の防災学習は、昨年度の「防災宿泊合宿」に続き素晴らしい成果です。

近隣住民も学校区の自主防災組織の連合体からなる「避難所運営委員会」も設立されており、地域の防災活動も防災士が中心となって活発に行っている地域です。先日も、避難所運営委員会による「夜間避難訓練」を実施し夜間対応の手順や装備品の確認を行ったとのこと。(写真)



新潟市の人口集中地でありながら、学校と地域の避難所運営委員会が「連携した防災活動」が出来ている模範的な地域です。